



平成19年3月13日

各 位

会 社 名 ワタベウェディング株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡部 隆夫
(コード番号: 4696 東証第一部・大証第一部)
問 合 せ 先 常務取締役管理本部長 上田 勝己
(TEL: 075-352-4111)

特別損失の発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成19年3月13日開催の臨時取締役会において、収益力の強化と経営効率の向上を図るため当社挙式施設及び店舗の整理を行うことを決議いたしました。この結果、平成19年3月期におきまして、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

またこれに伴い、平成18年5月10日の決算発表時に公表いたしました平成19年3月期の通期連結業績予想及び平成18年11月8日の中間決算発表時に公表いたしました平成19年3月期の通期個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生の背景及びその内容

(1) 特別損失の発生の背景

- ① 当社では、中長期的な経営戦略として、この度「中期事業計画」の概略をまとめました。骨子は、ブライダル事業をとりまく環境を踏まえ、当社のコアコンピタンスが活用可能な4つの事業をコア事業と定め、成長戦略・計数計画を策定し、コア事業以外の施設や採算性の低い事業を見直し有効活用を図ることとあります。
- ② 当社では、来年度からの「中期事業計画」実行に先んじて、上記の観点よりグループ総資産の見直しを実施することといたしました。これにより、「中期事業計画」スタート期に収益性の一層の改善が可能となり、成長戦略の早期達成を目指してまいります。なお、「中期事業計画」の詳細につきましては決算発表後に公表させていただきます。
- ③ 当社100%連結子会社のワタベ・サイパンINC.及びワタベ・ユーエスエーINC.における過年度に販売した商品に係わる補填金支払の事案が発生いたしました。これにつきましてはの詳細は本日同時開示いたしております。

(2) 特別損失の内容

- ① 事業施設及び店舗の整理並びに子会社による特別損失の計上
収益構造の改善により収益力の強化と経営効率の向上を図るため、収益性の低下している一部の施設・店舗につきましては、撤退等の整理をおこなうこととしました。この結果、固定資産除却損、賃貸借店舗の解約金等441百万円を整理損として特別損失に計上いたします。また、上記2連結子会社による補填金として175百万円を特別損失として計上いたします。
- ② 減損損失の計上
当社は固定資産の減損に係る会計基準に基づき、収益性の低下した状態が継続している施設につきまして減損損失197百万円を特別損失に計上いたします。

2. 平成 19 年 3 月期通期業績予想の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

(1) 連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 5 月 10 日発表)	34,000	2,200	1,250
今回修正予想 (B)	34,000	2,200	815
増減額 (B-A)	—	—	△ 435
増減率 (%)	—	—	△ 34.8%
前期実績 (平成 18 年 3 月期)	31,177	1,732	1,105

(2) 個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 11 月 8 日発表)	23,500	1,450	930
今回修正予想 (B)	23,500	1,450	650
増減額 (B-A)	—	—	△ 280
増減率 (%)	—	—	△ 30.1%
前期実績 (平成 18 年 3 月期)	21,202	880	595

3. 修正理由

売上高及び経常利益につきましては、前回発表いたしました予想と変更はございません。しかしながら「中期事業計画」に先駆け事業施設及び店舗の整理と減損損失の計上、さらに連結子会社による補填金の計上により連結業績における特別損失といたしましては 813 百万円、個別業績における特別損失といたしましては、連結子会社による補填金の計上を除き 638 百万円が発生し、当期純利益が前回予想を下回ることとなりました。期末配当予想につきましては、現時点において修正はございません。

なお、業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上